

令和 7 年 1 1 月 第 2 回市長定例記者会見

- ・ 日時 令和 7 年 1 1 月 2 5 日 (火)
午後 1 時
- ・ 場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 明治安田生命保険相互会社との包括連携協定に基づくしらたきメニューの提供や「群馬県フェア」が開催されます (資料 1)
- 2 ユニバーサルツーリズムの推進に向けたワークショップを実施します (資料 2)
- 3 渋川市地域おこし協力隊員の活動拠点の一つとして石段街休憩センター「いっぷく館」をリニューアルします (資料 3)
- 4 公共交通で行くしぶかわエコ旅応援キャンペーン (令和 7 年度第 2 弾) を実施します (資料 4)
- 5 令和 7 年度 一般会計補正予算 (第 5 号) 案のフレーム (資料 5)
- 6 家庭血圧目標「収縮期血圧 1 2 5 mmHg 未満」にちなんだ「家庭血圧測定推進キャンペーン」を実施します (資料 6)
- 7 誰でもスムーズに市の情報を確認できるサイトを目指して渋川市公式ホームページをリニューアルします (資料 7)

その他資料提供

- ・ 戦後 8 0 年平和推進展と平和推進啓発作文・ポスター表彰式を開催します (資料 8)
- ・ 渋川市国際交流協会の「新年の集いー New Year Party ー」を開催します (資料 9)
- ・ 1 2 月 6 日 (土) に音楽ライブ「GO TO MUSIC」が開催されます (資料 1 0)
- ・ 渋川市 2 0 周年記念事業「しぶかわパンケーキ甲子園」が開催されます (資料 1 1)
- ・ 渋川市人権教育講演会「発達障害について～特性理解と支援のポイント～」を開催します (資料 1 2)
- ・ 令和 7 年度渋川市「家族の日」大会を開催します (資料 1 3)
- ・ 令和 7 年度明るい選挙啓発ポスターコンクール表彰式を開催します (資料 1 4)

○次回開催予定

日時：令和 7 年 1 2 月 8 日 (月) 午後 1 時
場所：渋川市役所本庁舎 2 階 記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
11月25日(火)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
	14:00	県商工会議所連合会及び渋川商工会議所から要望書の提出	市役所本庁舎	産業政策課
11月26日(水)	11:00	渋川商工会議所女性会創立50周年記念式典	プレヴェール渋川	産業政策課
	13:30	渋川市民生委員児童委員退任式・委嘱式	北橋公民館	地域包括ケア課
11月27日(木)				
	17:30	群馬県スローフード協会 交流型地産地消秋の食談会	前橋商工会議所会館	農政課
11月28日(金)	10:00	12月市議会定例会：開会、議案上程	議場	議会事務局
11月29日(土)	13:30	渋川市「家族の日」大会	北橋公民館	生涯学習課
	14:30	第34回関東中学校駅伝競走大会開会式	総合公園体育館	スポーツ課
11月30日(日)	8:30	第7回渋川ライオンズクラブ少年野球教室	北橋運動場野球場	産業政策課
12月1日(月)	7:30	冬の県民交通安全運動車両広報	渋川地区(北)	危機管理室
	10:00	12月市議会定例会：議案上程	議場	議会事務局

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
12月1日(月)	7:30	冬の県民交通安全運動車両広報	渋川地区(北)	危機管理室
	10:00	12月市議会定例会:議案上程	議場	議会事務局
12月2日(火)	10:00	12月市議会定例会:一般質問	議場	議会事務局
12月3日(水)	10:00	12月市議会定例会:一般質問	議場	議会事務局
	18:00	渋川群栄会忘年会	プレヴェール渋川	秘書室
12月4日(木)	10:00	12月市議会定例会:一般質問	議場	議会事務局
12月5日(金)	10:00	総務市民常任委員会	市役所本庁舎	議会事務局
12月6日(土)	9:50	SHUNTA class LAILING baseball 開会式	総合公園野球場	秘書室
	11:00	しぶかわパンケーキ甲子園・渋川バザール	市役所本庁舎駐車場	産業政策課
	14:00	拉致問題を考える国民の集いin群馬	群馬会館	生涯学習課
	17:00	しぶかわイルミネーション点灯式	赤城健康公園	政策戦略課
12月7日(日)				
12月8日(月)	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
	18:00	東和新生会忘年会	プレヴェール渋川	秘書室

明治安田生命保険相互会社との包括連携協定に基づく しらたきメニューの提供や「群馬県フェア」が開催されます

渋川市と明治安田生命保険相互会社の連携による、しらたきを使ったヘルシーメニューの提供と群馬県産品をPRする「群馬県フェア」が、東京都内のオフィスビルで開催されます。

この取り組みは、同社との包括連携協定に基づき、地域課題解決に向けた地域産業の活性化と健康増進を目的としています。

1 概 要

渋川市は、令和2年8月21日に明治安田生命保険相互会社と包括連携協定を締結し、主に健康増進、福祉サービスの向上、地域産業の活性化に関する分野で事業連携を推進しています。

この取り組みの一環として、都内の明治安田生命が入居するオフィスの社員食堂3カ所で、渋川市の重要な特産品であるこんにゃくを使用した様々なしらたきメニューが提供されます。また、渋川市をはじめとする群馬県内の名産品をPR・販売する物産展「群馬県フェア」が明治安田生命新東陽町ビルで開催されます。

この取り組みは、地域課題解決に取り組む明治安田生命と、渋川市等の群馬県内自治体との連携により実施されるものです。

2 内 容

(1) しらたきメニューの提供(提供日)

①明治安田生命新東陽町ビル(東京都江東区東陽)

- ・五目麻婆しらたき(12月1日(月))
- ・肉じゃが(12月2日(火))
- ・しらたき中華サラダ(12月3日(水))
- ・しらたきの韓国風サラダヌードル(12月4日(木))
- ・しらたきの五目炒め(12月4日(木))
- ・しらたきたっぷりヘルシー牛丼(12月5日(金))
- ・しらたきのアジア風サラダヌードル(12月5日(金))
- ・すき焼き丼(12月5日(金))

②明治安田生命ビル(東京都千代田区丸の内)

- ・しらたきのチャプチェ(12月5日(金))
- ・しらたきのタイ風サラダ仕立て(12月5日(金))

③明治安田生命事務センタービル(東京都豊島区高田)

- ・しらたきのチャプチェ(12月1日(月))
- ・しらたきのサラダ(12月2日(火))
- ・しらたきと人参の明太炒め(12月3日(水))
- ・しらたきと胡瓜の酢の物(12月4日(木))
- ・牛すき煮(12月5日(金))
- ・ジャコと白滝の豆板醤炒め(12月5日(金))

※1) 全て、渋川市内事業者から直送された群馬県産しらたきを使用します。

※2) 明治安田生命事務センタービルでは、これに加えて「ソースかつ丼」(12月2日(火))、「おきりこみ」(12月4日(木))など、群馬県民に親しまれているメニューが提供されます。

(2) 物産展「群馬県フェア」

群馬県の産業振興・観光振興を目的とした県産品のPRを行います。

①日 時：12月5日(金) 午前11時～午後2時

②場 所：明治安田ヴィレッジ東陽町2階 イベントスペース
(明治安田生命新東陽町ビル)

③内 容：群馬県産品の販売、観光PR、社員食堂でのコラボメニューの提供

④出展者

- ・渋川地区物産振興協会（渋川市）
- ・(一社)前橋市物産振興協会（前橋市）
- ・(株)たむらや（前橋市）
- ・(有)中川漬物（前橋市）
- ・(株)たか房（前橋市）
- ・沼田市観光協会（沼田市）
- ・館林市観光協会（館林市）
- ・藤岡市商業観光課（藤岡市）
- ・近藤酒造(株)（みどり市）
- ・みなかみ町観光協会（みなかみ町）

3 記者会見出席者

明治安田生命保険相互会社 群馬支社

市場統括部長 上村 稔（うえむらみのる）氏

北群馬営業所長 辻 恭子（つじきょうこ）氏

北群馬営業所 朝倉 真里（あさくらまり）氏

4 その他

取材いただく際は、政策戦略課または明治安田生命保険相互会社 関東北地域リレーション本部に連絡をお願いします。

明治安田生命保険相互会社 関東北地域リレーション本部

担当 村本 麻奈（むらもとまな）氏（電話048-650-8850）

参考

1 明治安田生命保険相互会社との包括連携協定

渋川市は、地域の諸課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展、及び市民サービスの向上を目指して、令和2年8月21日に包括連携協定を締結しました。

同社とは主に健康増進や福祉サービスの向上、地域産業の活性化を目的に連携しており、電話音声明瞭器「サウンドアーチ」の寄贈や、市主催の健康イベントでの血管年齢の測定、営業職員による福祉3分野(健康増進、子育て、介護・認知症)に関する行政サービス提供などが実施されています。

<連携事項>

- ・健康増進に関すること
- ・地域社会の活性化に関すること
- ・地域産業の活性化に関すること
- ・福祉サービスの向上に関すること
- ・安心、安全なまちづくりに関すること

- ・子どもの健全育成に関すること
- ・環境保全に関すること
- ・その他市政情報発信など市民サービスの向上に関すること

2 これまでの主な取り組み

(1) 電話音声明瞭器「サウンドアーチ」の寄贈

電話の聴こえに悩む人の社会的孤立を防ぎ、地域とのつながりを支える共生社会の実現を目的として、同社が音響機器メーカーと共同開発した電話音声明瞭器「サウンドアーチ」を寄贈いただきました。

渋川市では、高齢福祉に関する窓口等に設置し、「聴こえ」に関する課題を抱える市民の支援に活用しています。

(2) 行政サービス情報提供活動

同社の「MYリンクコーディネーター」（営業職員）が、お客様の希望や生活状況を踏まえて、渋川市の福祉3分野（健康増進・子育て・介護／認知症）に関する行政サービス計60件をタブレット端末で案内する取り組みです。

民間の接点力と行政情報を掛け合わせることで、市民の健康づくりや暮らしの質の向上を支援し、市民サービスのさらなる充実を図ります。

（提供開始：令和6年2月13日）

(3) 「私の地元応援募金」

明治安田グループの全従業員が出身地・居住地等ゆかりのある地域の自治体等に募金し、会社拠出金を寄附として上乗せして支援していただくものです。それぞれの地域に寄り添い、離れた“地元”にも想いを届ける活動として、渋川市では令和2年度から、累計400万円以上の寄付をいただいています。

いただいた寄附金は、同社と協議のうえ、渋川市の子育て支援関連事業のために活用しています。

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）

ユニバーサルツーリズムの推進に向けたワークショップを実施します

渋川市は、誰もが安心して訪れられる観光地づくりを進めるため、ユニバーサルツーリズムの推進に取り組んでいます。この一環として、高崎商科大学やD E T群馬、民間企業と連携し、「渋川・伊香保温泉バリアフリーマップ」改定に向けた現地調査や、パーソナルモビリティ「WHILL」の実証など、観光地の移動環境を総合的に検証するユニバーサルツーリズム推進ワークショップを、11月29日（土）に実施します。

1 目 的

渋川市は、年齢や障害の有無にかかわらず誰もが安心して訪れることのできる観光地を目指し、「渋川・伊香保温泉バリアフリーマップ」の作成や「観光施設における心のバリアフリー認定制度」の普及など、ユニバーサルツーリズムの推進に取り組んでいます。

今回、障害者や高齢者など移動に困難を抱える人の安全で円滑な移動手段の確保と、令和4年度に改訂したバリアフリーマップの更なる改善を目的に、ワークショップを開催します。観光地における移動環境の向上を図り、誰もが安心して滞在できるユニバーサルツーリズムの推進につなげるものです。

2 日 時 令和7年11月29日（土） 午前9時45分～午後5時

3 場 所 渋川公民館（渋川市役所第二庁舎）、伊香保温泉及び観光施設

4 参 加 者

高崎商科大学 萩原准教授及び学生、D E T群馬 ※計40人程度

5 実施体制

今回のワークショップは、ユニバーサルツーリズムの研究者である高崎商科大学萩原准教授と、バリアフリーマップ作成に協力いただいたD E T群馬の支援を受けて実施します。

また、渋川市が令和6年度に参加した群馬県主催「ぐんまガバメントピッチ」において、パーソナルモビリティ導入によるユニバーサルツーリズム推進の提案を行った（株）北信越地域資源研究所と連携するとともに、WHILL（株）の協力を受け、パーソナルモビリティ「WHILL」3台の貸与を受けて実施します。

6 内 容

（1）第1部 心のバリアフリーセミナー（D E T研修）

①時 間：午前9時45分から正午まで

②場 所：渋川公民館（渋川市役所第二庁舎）

③講 師：D E T群馬

④概 要：従来のD E T研修に加え、ユニバーサルツーリズムの推進やパーソナルモビリティ導入に向けた検討、バリアフリーマップ改定に向けた視点を取り入れ、対話型のグループワークを実施します。

(2) 第2部 伊香保温泉及び観光施設フィールドワーク

①時 間：午後1時30分～5時

②場 所：伊香保石段街周辺及び観光施設

③概 要：バリアフリーマップ改定に向けた現地調査と、パーソナルモビリティ「WHILL」の運用検証、車椅子の移動円滑化の確認を行います。
D E T群馬のサポートのもと、参加者は3グループに分かれてフィールドワークを実施し、「WHILL」と車椅子を各1台使用して設定された調査項目を点検します。

参考

1 「渋川・伊香保温泉バリアフリーマップ」について

バリアフリーマップは、多機能トイレや通路の段差情報など、車いす利用者や高齢の方が事前に必要なバリアフリー情報を確認できるよう作成した地図です。

令和3年度に内閣官房が実施した「オリパラ基本方針推進調査 共生社会ホストタウン交流事業」において、共生社会に向けた取り組みを一過性のものとせず、2024年のパリ大会以降にも引き継がれるレガシーの創出を目的に、渋川市を含む5自治体(栃木県那須塩原市、埼玉県三芳町、滋賀県甲賀市、島根県邑南町)が採択され、それぞれがバリアフリーマップの作成に取り組みました。

調査の実施に当たっては、多くの障害平等研修を主催するD E T群馬の協力を得て、伊香保温泉石段街周辺や周辺観光施設を詳細に調査し、国内で多数のバリアフリーマップ作成実績を持つ株式会社ミライロの監修のもと作成しました。また、令和4年度には、マップ寸法の拡大、参考ルートの追加、アクセス情報の充実などの改訂を行いました。

令和6年度には、このマップを活用し、(株)山田製作所が開発する「Lactivo」の伊香保温泉内での運用について、観光地の交通環境で使用した場合のモニタリング、特定小型原動機付自転車の理解促進、伊香保温泉における新たな交通手段の可能性検証を目的に、高崎商科大学、株式会社山田製作所、D E T群馬の協力のもとフィールドワークを実施しました。

(マップ作成部数：令和3年度 5,500部、令和4年度 5,000部)

2 「ぐんまガバメントピッチ」について

群馬県未来投資・デジタル産業課が主催する官民共創の取り組みで、自治体の課題を発表し、民間企業から提案を募るものです。

渋川市は、令和6年度に「誰もが自分らしく生きられるまち」をテーマに参加し、多様な企業から提案を受けました。その中から、パーソナルモビリティを活用した新たな旅のスタイル提案が採択され、株式会社北信越地域資源研究所の協力により、今回のワークショップの実施につながっています。

3 (株)北信越地域資源研究所について

新潟県上越市を拠点に、地域資源である「人・モノ・情報・体験」に着目し、観光、まちづくり、交通、地域ブランディングなど、さまざまな分野を横断して新たな価値を創出する民間企業です。

代表取締役の平原匡氏は、足に不自由があり、日常的にパーソナルモビリティ「WHILL」を利用しています。その経験をもとに、移動困難な人たちの視点から「移動の

自由化」や「誰もがアクセスできる旅のスタイル」の実現に取り組んでいます。

同社は、これまでも、大学などと連携し、「パーソナルモビリティ導入による新たな旅のスタイル」として、観光地におけるパーソナルモビリティの利用実態と導入可能性の調査・開発を行っており、移動に関するバリアの可視化と観光地における新たな移動様式の探究に知見を蓄えています。

4 「WHILL」について

近距離移動を快適かつ安全に行うために開発された次世代型パーソナルモビリティで、屋内外のさまざまな環境で使用でき、直感的な操作性や高い走破性を備え、移動に不安を抱える人の行動範囲を大きく広げることができます。

今回のフィールドワークでは、観光地における移動環境の検証を目的として、WHILL(株)の協力により、起伏のある場所でも安定した走行が可能な「WHILL Model R」を使用します。



【WHILL Model R】

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）

資料3

渋川市地域おこし協力隊員の活動拠点の一つとして 石段街休憩センター「いっぷく館」をリニューアルします

令和7年12月1日(月)に、伊香保温泉石段街休憩センター「いっぷく館」を、インバウンド観光振興分野で活動している渋川市地域おこし協力隊の藤田隊員と胡隊員の活動拠点の一つとして、リニューアルオープンします。

活動拠点開設後のいっぷく館では、石段街を散策する観光客への観光情報の提供や、英語・中国語によるインバウンド旅行者への観光案内、市内で活動する地域おこし協力隊の活動紹介などを行います。

1 概 要

インバウンド観光振興分野で活動する地域おこし協力隊員は、主に伊香保温泉を訪れるインバウンド旅行者を対象とした情報発信や観光案内などの活動を行っています。しかし、これまでは、特定の活動拠点がなく、令和6年12月に石段街沿いの旅館をリノベーションしてオープンした「IKAHO HOUSE 166」や、渋川市観光課執務室などで活動してきました。

今回、活動拠点を置く石段街休憩センター「いっぷく館」は、合併前の旧伊香保町において、平成14年1月に公衆トイレを併設する休憩所として開設された施設です。石段街を散策する観光客が立ち寄る姿は見られるものの、観光情報の提供などは行っておらず、石段街にある施設として有効活用ができていない状況にありました。

そこで、現役隊員はもちろん、令和6年3月に協力隊を卒業後渋川市に定住している長沼元隊員も協力の上、「いっぷく館」に地域おこし協力隊の活動拠点を開設し、外国語対応を含めた観光案内機能を備えることにより、石段街における観光情報発信の拠点施設として施設の機能強化を図ります。

- 2 リニューアルオープン日 令和7年12月1日(月) 午前11時
※リニューアルに係る概要説明を隊員が行います

- 3 場 所 伊香保温泉石段街休憩センター「いっぷく館」
(渋川市伊香保町伊香保65-2)
※開館時間：午前9時～午後6時

4 隊員の在館日

隊員は、「いっぷく館」開館中、常駐するものではありません。

在館日時については、SNS等を利用して情報発信を行いますので、来館前に確認をお願いします。

5 活動拠点での取り組み

(1) 休憩所としての環境改善

施設案内看板の新設、施設内の装飾、ベンチの設置など、観光客が立ち寄りたくなるような休憩所環境を提供します。

(2) 観光情報・観光案内の提供

地域おこし協力隊が、必要な観光パンフレットの配架や時季に合わせた観光情報の提供を行うことで、旅行者が求める観光情報にタイムリーにアクセスできるようになり、旅行者の満足度向上に貢献します。

また、藤田隊員が英語、胡隊員が英語・中国語での観光案内に対応できることから、幅広いインバウンド旅行者を対象とした観光案内を提供します。

6 活動隊員紹介

(1) 藤田 雅美（ふじた まさみ）隊員：令和7年7月1日着任

栃木県出身、41歳。

学習塾講師等の経験を生かした英語力と、チョークアートによる看板製作や高いコミュニケーションスキルを生かし、令和7年7月1日からインバウンド観光振興分野の地域おこし協力隊として活動中。

(2) 胡 玄燁（こ げんよう）隊員：令和6年10月1日着任

台湾・高雄市出身、38歳。

平成28年に東京芸術大学デザイン科の交換留学生として来日。その後ヤマハ台湾支社で勤務する傍ら、台湾でインバウンド旅行者を対象とした観光ガイドとして活躍後、令和4年に再来日し、都内でインバウンド旅行者を対象としたハイヤー運転手として勤務。

インバウンド旅行者を対象とした観光ガイドの経験と、中国語・英語の2カ国語のスキルを生かし、令和6年10月1日からインバウンド観光振興分野の地域おこし協力隊として活動中。

7 記者会見出席者

渋川市地域おこし協力隊（インバウンド観光振興分野）藤田 雅美 隊員

■問い合わせ先

産業観光部 部長 柴田 宏（内線4899）

担当：観光課（電話0279-22-2873）

課長 高橋 巧（内線4880）

観光振興係長 藤井 隆（内線4881）

資料4

公共交通で行くしぶかわエコ旅応援キャンペーン (令和7年度第2弾)を実施します

渋川市は、自家用車を使用しない「環境に配慮した旅」を促進するとともに、物価高騰の影響を受ける観光業及び交通事業者を支援するため「公共交通で行くしぶかわエコ旅応援キャンペーン」の令和7年度第2弾(冬)を実施します。

実施期間は、令和8年1月13日(火)～2月28日(土)です。宿泊予約の受付は、対象宿泊施設のホームページで令和7年12月1日(月)から開始します。

1 目 的

「公共交通で行くしぶかわエコ旅応援キャンペーン」は、「観光と環境」をコンセプトとして、令和4年度から実施している事業です。群馬県外に住所を有する人で、県外から公共交通機関を利用して渋川市内の対象宿泊施設に「しぶかわエコ旅パック」で宿泊する人に、渋川市電子地域通貨「渋P a y」3,000ポイント(3,000円相当)を付与したエコ旅ポイントカードを配付します。

この事業を通じて、公共交通機関を利用した旅の魅力を発見してもらうとともに、環境への配慮の意識を高めてもらうことを目的としています。また、二次交通機関も含めた利用の促進を図り、新たな観光関係需要を喚起することで、観光業及び交通事業者を支援します。

2 実施期間 令和8年1月13日(火)～2月28日(土)宿泊分

3 対 象 者

以下の全てに該当する人

- (1) 群馬県外に住所を有する人
- (2) 渋川市内の対象宿泊施設に「しぶかわエコ旅パック」で宿泊予約し、宿泊する人
- (3) 群馬県外から鉄道や高速バス等の公共交通機関を利用した人
- (4) 事前に「エコ旅ポイントカード申請書の記載」及び「関係書類の添付」を完了した状態でチェックインできる人

4 エコ旅ポイントカードの発行手順

- (1) 利用者は、対象宿泊施設のホームページから「しぶかわエコ旅パック」で宿泊予約をします。
- (2) 対象宿泊施設は、しぶかわエコ旅パック予約情報に応じて、必要書類を添えて観光課に渋P a yポイントカードの発行を申請します。
- (3) 観光課は、申請が適正かどうか確認し、エコ旅ポイントカードを準備します。
- (4) 対象宿泊施設の職員は、伊香保行政センターの窓口で身分証等を提示し、エコ旅ポイントカードを受け取ります。
- (5) 利用者は、事前に「エコ旅ポイントカード申請書」の記載及び「関係書類の添付」を完了した状態でチェックインします。

※関係書類は、身分証明書及び公共交通機関の利用証明資料の写し

- (6) 対象宿泊施設の職員が書類を審査し、事前に市から受け取ったエコ旅ポイントカードを配付します。

5 対象宿泊施設

現時点で、12施設がキャンペーンに参加する予定です（今後、対象施設が増える可能性があります）。対象宿泊施設は、市ホームページに掲載します。

6 宿泊予約の開始日

第2弾のしぶかわエコ旅パックの予約受付は、各対象宿泊施設のホームページ上で、令和7年12月1日（月）から開始します。

予約の受付期限は、各対象宿泊施設に確認してください。

7 ポイントの有効期限 令和8年3月15日（日）

8 配布ポイント上限

第1弾と合わせて、445万5千円分を配付ポイントの上限とします。

上限に達し次第、キャンペーンは終了とさせていただきます。

9 PR方法

じゃらんnetWEBページに、キャンペーン記事を掲載する予定です

※掲載期間は、令和7年12月～令和8年1月の2カ月間を予定

参考

令和7年度第1弾（夏）の実績

- （1）実施期間：令和7年9月1日～10月14日
- （2）対象宿泊者数：299人
- （3）渋Pay配付ポイント：89万7,000ポイント

■問い合わせ先

産業観光部 部長 柴田 宏（内線4899）

担当：観光課（電話0279-22-2873）

課長 高橋 巧（内線4880）

観光振興係長 藤井 隆（内線4881）

資料5

令和7年度 一般会計補正予算(第5号)案のフレーム

(千円)

歳 出	歳 入
1 ゼロ市債を活用した市道の整備 (債務負担行為 176,214) 事業効果の早期発現及び発注時期の平準化による地域経済の活性化を図るため、ゼロ市債を活用し、令和8年度着手予定の事業を前倒しして実施 (1)道路の改良：1路線 58,382 (2)道路の改修：1路線 6,336 (3)舗装の補修：3路線 54,175 (4)側溝の改修：3路線 57,321	1 分担金及び負担金 475 農地災害復旧事業受益者分担金
2 保育所、認定こども園及び幼稚園に対する委託費に係る予算を増額 95,850 国が定める公定価格の見直しに対応するもの	2 国庫支出金 242,710 (1)子どものための教育・保育給付費負担金 61,182 (2)生活保護費国庫負担金 179,680 ほか
3 生活保護費に係る予算を増額 239,575 医療扶助費等の増額に対応するもの	3 県支出金 22,522 (1)子どものための教育・保育給付費負担金 17,334 (2)持続的なこんにやく生産を支える総合対策事業補助金 4,000 (3)農地災害復旧事業費補助金 990 (4)小規模農村整備事業補助金 198
4 農業用管水路の布設替工事を実施 1,980	4 繰越金 44,814 前年度繰越金
5 農地の災害復旧工事を実施 2,376 9月10日～11日の降雨の影響で、小野上地区村上地内の農地の法面が崩落したため、災害復旧工事を実施	5 市債 900 消防防災整備事業債

6 その他	△28,360	
(1) 渋川駅前駐車場の返還に伴う原状回復工事	1,815	
(2) こんにゃく農家の機械導入費用を補助	4,000	
(3) 有馬調整池からの農業用管水路の移設工事	1,958	
(4) 県防災情報通信ネットワークシステム衛星回線設備更新に係る負担金の増額	837	
(5) 広域組合負担金の減額	△9,515	
(6) 人事異動等に伴う人件費の減額	△63,701	
(7) 国県支出金精算還付金	26,503	
(8) 特別会計への繰出金	3,376	
	ほか	
	311,421	311,421

※計数整理により金額が変動する可能性があります

補正前予算額 39,169,784千円



補正後予算額 39,481,205千円

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：財政課（電話0279-22-2414）

課長 荒井 啓充（内線2150）

財政係長 平林 徹哉（内線2149）

家庭血圧目標「収縮期血圧125mmHg未満」にちなんだ 「家庭血圧測定推進キャンペーン」を実施します

渋川市は、令和7年4月から「渋川市家庭血圧チャレンジ事業」として、高血圧予防対策に取り組んでいます。この事業の一環として、家庭での血圧測定を推進し、生活習慣病予防に取り組む「家庭血圧測定推進キャンペーン」を実施します。キャンペーンは、県の家庭血圧目標値である「収縮期血圧125mmHg未満」の『125』にちなみ、12月5日(金)から開始します。

1 概要

高血圧症は、心臓病や脳卒中、腎臓病などの疾患の主要な危険因子となります。この病気は、自覚症状がなく、見逃されやすいことが問題ですが、血圧測定により自分の健康状態を数字で確認することができます。また、血圧を気にして生活を送ることが健康意識を高めることにつながり、結果的に、高血圧以外の生活習慣病予防にもつながります。

群馬県は、家庭血圧目標値を「収縮期血圧125mmHg未満」とし、高血圧対策に取り組んでいます。渋川市においても、令和7年4月から「渋川市家庭血圧チャレンジ事業」として、群馬大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センターおよび渋川地区医師会と連携（※）し、高血圧予防対策を強化しています。

この度、渋川市家庭血圧チャレンジ事業の一環として、家庭血圧測定を習慣化することで生活習慣病の発症と重症化を予防し、渋川市民が健康で活気ある生活ができることを目指し、群馬県の家庭血圧目標値「収縮期血圧125mmHg未満」の『125』にちなんだ「家庭血圧測定推進キャンペーン」を実施します。

※高血圧予防への取り組みは、県内各自治体で実施していますが、群馬大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センターおよび地区医師会と連携した、「家庭血圧目標125mmHg未満」を目指す高血圧予防対策の取り組みは、県内では渋川市が初めてとなります。

2 渋川市の高血圧症の状況

渋川市国民健康保険加入者の脳血管疾患および心不全による死亡率は、国全体の国民健康保険加入者の死亡率と比較して高い状態にあります。また、渋川市国民健康保険加入者の医療費においても「糖尿病」「高血圧症」「脂質異常症」が外来医療費の上位に入っています。

そのため、「第3期渋川市国民健康保険保健事業実施計画」では、「虚血性心疾患や脳血管疾患の入院受診率の減少」、「血圧がⅠ度高血圧（収縮期血圧140mmHgまたは拡張期血圧90mmHg以上）の人の割合の減少」が目標にあげられています。

市民の生活習慣病の発症重症化を予防し、健康的な生活を送るために、高血圧症対策が欠かせない状況となっています。

3 渋川市家庭血圧チャレンジ事業の内容

（1）周知啓発活動（令和7年6月～）

渋川市ほっと健診（渋川市国民健康保険特定健康診査）および、わかば健康診査（20歳～39歳対象）の受診者に、高血圧予防のチラシを配布。

- (2) 渋川市家庭血圧チャレンジ市民講座（令和7年10月21日開催）
血圧測定的重要性についての講演と血圧の測り方講座を実施。
- (3) 「渋川市家庭血圧手帳」の作成（令和7年9月～配布開始）
血圧の測り方や高血圧を予防する生活のポイントを掲載した、日々の血圧の状況を記録する手帳を作成し、渋川市保健センターで配布（約600部配布済み）。

4 家庭血圧測定推進キャンペーン

(1) 実施期間 令和7年12月5日(金)～令和8年1月25日(日)

(2) 実施内容

①家庭での血圧測定促進

渋川市保健センターで配布する「渋川市家庭血圧手帳」を活用し、減塩を意識した食生活を心がけながら、家庭で血圧測定をした結果を2週間以上記録した「渋川市家庭血圧手帳」を、渋川市保健センターに持参した市民に粗品をプレゼントします。

※先着125人。持参した本人のみ対象。1人1回のみ

※渋川市保健センターの開庁時間は、土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時15分

②渋川市公式LINEを活用した周知

高血圧予防について楽しみながら学べるクイズを、市公式LINEでキャンペーン期間中に計8回配信します。

③渋川市食生活改善推進員連絡協議会と連携した減塩食の周知

参考

血圧について

血圧は、収縮期血圧と拡張期血圧の2つの値で表されます。

収縮期血圧とは、心臓が血液を全身に送り出すために収縮した際に、血管にかかる圧力のことで、一般的に「上の血圧」や「最高血圧」と呼ばれています。

拡張期血圧とは、心臓が拡張して血液を貯めている間の血圧で、「下の血圧」または「最低血圧」と呼ばれています。

家庭血圧の目標値は、収縮期血圧125mmHg未満、拡張期血圧75mmHg未満です。

■問い合わせ先

育都推進部 部長 齋藤 章吉（内線1150）

担当：健康増進課（電話0279-25-1321）

課長 村上 道子（内線4600）

健康推進係長 田中 加奈（内線4601）

誰でもスムーズに市の情報を確認できるサイトを目指して 渋川市公式ホームページをリニューアルします

渋川市は、誰でもスムーズに市の情報などを確認できるサイトを目指して、公式ホームページのリニューアルを行います。今回のリニューアルは、主に「マルチデバイス対応」「ユーザビリティの向上」「サイトデザインの刷新」を目的に、機能強化やデザイン刷新などに取り組みました。

新しいホームページは、令和7年12月1日(月)から公開を開始します。

1 概要

現在の渋川市公式ホームページは、令和2年にリニューアルを行いました。これによりアクセス数(訪問者数)は、令和元年度の168万4,102回から令和6年度の299万3,936回となり、5年間で約130万回も増加しました。しかし、利用が増えると同時に、「スマートフォンで表示したときにトップページの画像等の大きさや配置が悪く、探しづらい」や「キーワード等の検索では、求めるページを発見できないことがある」などの課題が出てきています。

そのため、渋川市は、ホームページ利用者のアンケート結果や市職員の意見などから、現行ホームページの課題を確認し、それらを解決するための「ホームページリニューアルの基本方針」を定めました。今回、この方針に基づき、「マルチデバイス対応」「ユーザビリティの向上」「サイトデザインの刷新」を目指して、ホームページのリニューアルを行います。

2 主なリニューアルの内容

(1) マルチデバイス対応

渋川市公式ホームページの利用者の6割以上が、スマートフォンで閲覧していることから、スマートフォンで表示したときに操作しやすい配置と角を丸めたボタンデザインとします。

また、スマートフォンによる閲覧の利便性を向上するため、画面の最下段にボトムナビを表示します。「検索」「メニュー」「ホーム」の3つのボタンが常に表示され、ページの閲覧途中であっても、アプリ感覚ですぐに操作が可能です。

スマートフォン表示トップページ▶



(2) ユーザビリティの向上

サイト内検索にGoogle社のGoogle検索を採用します。

これにより、検索した文字が完全一致しなくとも、類似する文字列で検索できるため、ページの見つけやすさが向上します。

また、トップページの上段に、大きな検索窓や各カテゴリ分類へのリンクを設置するとともに(パソコン表示の場合)、よく見られているページなどをアイコンで分かりやすく表示します(パソコン表示・スマホ表示で共通)。アイコンは、閲覧する人(一般、子育て、事業者など)ごとにタブを切り替えて表示ができます。

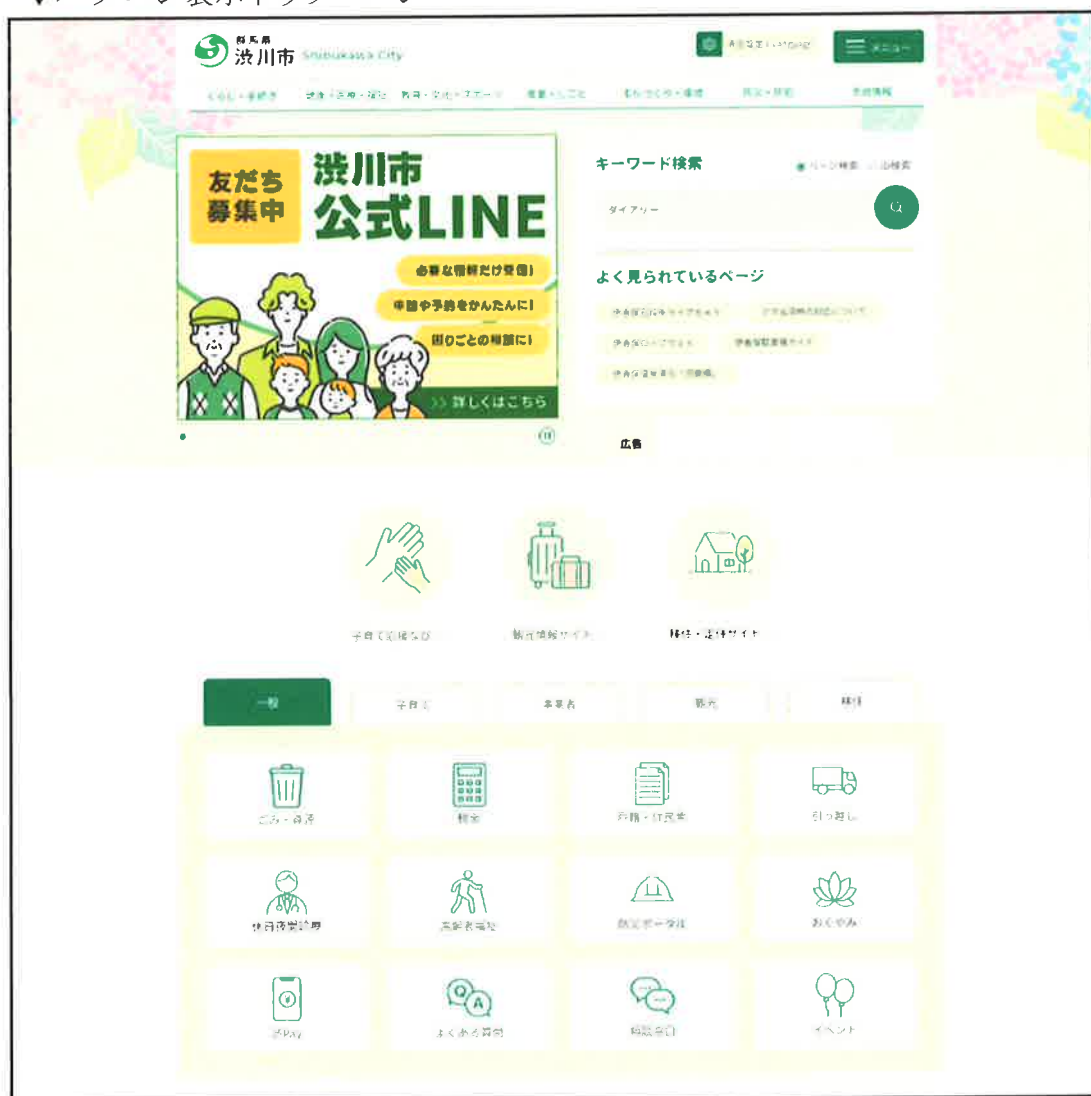
(3) サイトデザインの刷新

サイトデザインを刷新し、市の花や木、鳥などのイラストを背景に装飾しつつ、シンプルで落ち着いたデザインとします。

また、サブサイトについては、わくわくするようなデザインの観光サイトや、温かみのある配色でスマートフォンアプリのようなデザインの子育てサイトなど、観光、子育て、移住・定住、市議会、防災の5つのサブサイトについても、デザインの刷新を行います。

メインサイトとサブサイトを移動しやすくするため、メインサイトのトップページやメニュー内に、分かりやすく目立つサブサイトへのリンクを配置します（観光、子育て、移住・定住サイト）。

▼パソコン表示トップページ



3 新しいホームページの公開日時 令和7年12月1日(月) 午前9時

参考

渋川市公式ホームページアクセス数（訪問者数）

年度	アクセス総数(回)	月平均(回)	リニューアル
H21	590,432	49,203	○
H22	1,022,451	85,204	
H23	914,550	76,213	
H24	892,404	74,367	
H25	900,626	75,052	
H26	1,185,878	98,823	
H27	1,309,678	109,140	○
H28	1,382,407	115,201	
H29	1,378,439	114,870	
H30	1,554,206	129,517	
R 元	1,684,102	140,342	
R 2	2,310,119	192,510	○
R 3	2,396,909	199,742	
R 4	2,639,490	219,958	
R 5	2,656,441	221,370	
R 6	2,993,936	249,495	
R 7 (※)	1,821,740	260,249	

※令和7年10月末までの数値です

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：広報室（電話0279-22-2182）

室長 熊迫 徳三（内線2419）

広報広聴係長 武井 香代（内線2414）

戦後80年平和推進展と平和推進啓発作文・ポスター表彰式を開催します

2025（令和7）年は、先の大戦の終わりから80年の節目の年となります。
 渋川市は、市民に平和の尊さや大切さを訴え、平和推進の啓発を図るため、「戦後80年平和推進展」を開催します。また、令和7年度平和推進啓発作文・ポスターコンクールの表彰式と合わせて「平和講演会」を開催します。

1 目 的

渋川市は、市民に平和の尊さや大切さを訴え、戦争の悲惨さを後世に伝えることで、恒久平和への理解と認識を高めることを目的に、毎年、平和アニメ上映会や平和推進啓発作文・ポスターコンクール事業などの平和推進事業を行っています。

令和7年度は、戦後80年に当たることから、これらの取り組みに加えて、「戦後80年平和推進展」を実施します。

また、令和7年度平和推進啓発作文・ポスターコンクールの表彰式において、表彰式の参加者を対象に、平和講演会を実施します。

2 戦後80年平和推進展

- (1) 日 時 令和7年12月8日(月)～12月12日(金)
 ※8日(月)は正午から、12日(金)は午後2時まで
- (2) 会 場 中央公民館 展示ホール（渋川市渋川908-21）
- (3) 展示内容

- ①広島平和記念資料館 サダコと折り鶴ポスター
 2歳で被爆し10年後に白血病で亡くなった佐々木禎子さんの一生を通して、原爆被害の実相と平和の大切さを伝えるポスターを展示します。
- ②平和推進啓発作文・ポスターコンクール入賞作品

3 平和推進啓発作文・ポスター表彰式及び平和講演会

令和7年度の平和推進啓発作文・ポスターコンクールは、市内の小学6年生から作文94作品、市内の中学生からポスター177作品の応募があり、入賞作品28点が決定しました。入賞者の表彰式と合わせて、表彰式の参加者を対象に、平和講演会を実施します。

- (1) 日 時 令和7年12月19日(金) 午後4時～午後5時15分
- (2) 会 場 渋川市役所本庁舎3階 大会議室
- (3) 内 容
 - ・第一部：表彰式
 - ・第二部：平和講演会
- (4) 平和講演会の概要
 長崎原爆の被爆者と交流した「交流証言者」が、被爆者から直接受け継いだ被爆体験や平和への思いを話します。
- (5) 平和講演会講師 交流証言者 廣瀬 美由紀 さん
 （国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館に選定を依頼）

参考

1 過去の平和推進啓発作文・ポスターコンクール応募数

- ・令和4年度＝作文149作品、ポスター211作品
- ・令和5年度＝作文70作品、ポスター185作品
- ・令和6年度＝作文83作品、ポスター178作品

2 令和7年度平和推進啓発作文入賞者一覧

賞	学校名	学年	氏名	ふりがな
最優秀	渋川西小	6	黒沢 胡桃	くろさわ くるみ
優秀	渋川西小	6	新木 紫乃	あらき しの
優秀	渋川西小	6	炭本 留和	すみもと るな
優秀	三原田小	6	永井 佐和	ながい さわ
佳作	渋川北小	6	宮下 花佳	みやした はなか
佳作	渋川北小	6	狩野 壮志	かのう そうし
佳作	豊秋小	6	木暮 妃美	きぐれ はいび
佳作	豊秋小	6	小林 未菜美	こばやし みなみ
佳作	豊秋小	6	大川内 皆人	おおかわち みなと
佳作	長尾小	6	星野 妃良	ほしの ひら
佳作	津久田小	6	小畠 千尋	こじま ちひろ
佳作	橘小	6	今井 結唯	いまい ゆい
佳作	橘小	6	高橋 大翔	たかはし ひろと
佳作	橘北小	6	都丸 柚菜	とまる ゆずな

3 令和7年度平和推進啓発ポスター入賞者一覧

賞	学校名	学年	氏名	ふりがな
最優秀	子持中	3	松井 紅留翠	まつい くるみ
優秀	渋川中	2	田中 六花	たなか りっか
優秀	渋川中	2	星野 彩羽	ほしの いろは
優秀	北橘中	1	今井 陽菜	いまい ひな
佳作	渋川中	2	黛 里央菜	まゆずみ りおな
佳作	渋川中	2	中澤 凜花	なかざわ りんか
佳作	渋川中	2	水江 智哉	みずえ ともや
佳作	古巻中	3	関口 優花	せきぐち ゆうか
佳作	古巻中	1	青山 流唯	あおやま るい
佳作	子持中	3	後藤 竜樹	ごとう たつき
佳作	子持中	3	石田 梨々愛	いしだ りりあ
佳作	子持中	3	関 健志	せき たけゆき
佳作	北橘中	2	涌沢 愛菜	わくざわ あいな
佳作	北橘中	1	森田 紗穂	もりた すずほ



▲ポスターの部
最優秀賞受賞作品

■問い合わせ先

市民環境部 部長 堀口 幸則（内線1100）

担当：市民協働推進課（電話0279-22-2463）

課長 小野 宏伸（内線4314）

自治活動支援・市民交流係長 荒木 信彦（内線4315）

資料9

渋川市国際交流協会の「新年の集いーNew Year Partyー」を開催します

渋川市国際交流協会は、市民レベルで外国人との交流を深めるため、在住外国人との交流会として、新年の集いーNew Year Partyーを開催します。

1 目 的

渋川市国際交流協会は、多文化共生社会実現に向けて、市民レベルで外国人との交流を深めるため、在住外国人との交流会として「新年の集いーNew Year Partyー」を開催します。

交流会では、参加者同士で楽しめるゲームや立食ランチ、参加者によるステージ発表を実施し、多くの人に国際交流の場を提供します。

2 日 時 令和8年1月24日(土) 午前11時～午後2時

3 会 場 渋川市中央公民館（渋川市渋川908－21）

4 参加対象者・参加料

区 分	参加料
一般（高校生以上）	800円
渋川市国際交流協会員（高校生以上）	500円
外国人（家族含む）	
一般ボランティアスタッフ	
小中学生	300円
国際交流協会ボランティアスタッフ	
未就学児	無料

※参加料は、食材費の一部として徴収します

5 定 員 50人（先着順）

6 事業内容

- （1）参加者全員が楽しめるゲーム
- （2）立食ランチ
- （3）アトラクション（参加者によるステージ発表）

7 申込方法

氏名、住所、電話番号、国籍、ステージ発表希望の有無を電話またはメールで申込みください。

8 申込期間 令和7年12月8日(月)～22日(月)

※申込みをしていないと参加できない可能性があります。必ず事前に申込みください

9 申 込 先 渋川市国際交流協会事務局（市役所市民協働推進課内）
電 話：0279-22-2463
メール：sia-shibukawa@city.shibukawa.gunma.jp

10 そ の 他 動きやすい服装で来てください

参考

過年度の実施状況（過去3回分）

（1）令和4年度

- ・実施日時：令和4年11月6日 午前10時30分～午前11時50分
- ・実施会場：渋川市社会福祉センター（渋川市ほっとプラザ）4階大会議室
- ・参加人数：26人（うち外国人参加者5人）
- ・備 考：多文化共生社会を目指した交流会として11月に実施

（2）令和5年度

- ・実施日時：令和6年1月21日 午前11時～午後1時30分
- ・実施会場：渋川市中央公民館 ホール
- ・参加人数：37人（うち外国人参加者16人）

（3）令和6年度

- ・実施日時：令和7年1月25日 午前11時～午後1時50分
- ・実施会場：渋川市中央公民館 ホール
- ・参加人数：39人（うち外国人参加者20人）

■問い合わせ先

渋川市国際交流協会

事務局長（市民環境部長） 堀口 幸則（内線1100）

担当：事務局（市民協働推進課内・電話0279-22-2463）

事務局次長（課長） 小野 宏伸（内線4314）

自治活動支援・市民交流係長 荒木 信彦（内線4315）

12月6日(土)に音楽ライブ「GO TO MUSIC」が開催されます

渋川市中心市街地まちづくり市民サポーターによる音楽ライブ「GO TO MUSIC」が、12月6日(土)に渋川市中央公民館で開催されます。
渋川市内の高校生と一緒に、音楽で渋川を盛り上げます！

1 概要

「GO TO MUSIC」は、新型コロナウイルス感染症の影響により暗くなっていた地域の雰囲気を少しでも明るくしようと、渋川市中心市街地まちづくり市民サポーターが、渋川工業高等学校の生徒と一緒に令和2年度から毎年開催している音楽イベントです。

6年目となる今回も、高校生と一緒に音楽をとおして渋川のまちなかを明るく元気に盛り上げます。

2 日時 令和7年12月6日(土) 午後2時～4時

3 場所 渋川市中央公民館・4階ホール(渋川市渋川908番地21)

4 内容 音楽ライブ

5 出演者

- ・渋川工業高校軽音楽部 2バンド
- ・山朔田んぼ(高校生ソロ弾き語り)
- ・GEN BAND(ゲンバンド・県内のロックバンド)

※当日までに変更になる場合があります。

6 入場料 無料

7 主催 渋川市中心市街地まちづくり市民サポーター

参考

過年度の実施状況

(1) 第1回目

- ・開催日時 令和2年11月1日(日) 午前11時25分～午後3時
- ・会場 渋川市民会館ホワイエ
- ・出演者 渋川工業高校軽音楽部、風車ブラザーズ

(2) 第2回目

- ・開催日時 令和3年11月13日(土) 午前11時30分～午後3時
- ・会場 金島ふれあいセンター(金島公民館)
- ・出演者 渋川工業高校軽音楽部、風車ブラザーズ

(3) 第3回目

- ・開催日時 令和4年11月20日(日) 午後1時30分～4時
- ・会場 中央公民館
- ・出演者 渋川工業高校軽音楽部、風車ブラザーズ、a la Quartet

(4) 第4回目

- ・開催日時 令和5年12月10日(日) 午後1時30分～4時
- ・会場 中央公民館
- ・出演者 渋川工業高校軽音楽部、風車ブラザーズ、a la Quartet

(5) 第5回目

- ・開催日時 令和6年12月8日(日) 午後2時～4時
- ・会場 中央公民館
- ・出演者 渋川工業高校軽音楽部、IHASA、ティータイム

■問い合わせ先

産業観光部 部長 柴田 宏(内線4899)

担当: 産業政策課(電話0279-22-2596)

課長 山田 量俊(内線4890)

商工・産業振興係長 保科 陽介(内線4895)



GO TO MUSIC

2025. 12. 6(土)
14:00~16:00

会場

中央公民館・4階ホール

出演者

GEN BAND (県内のロックバンド)

渋谷工業高等学校軽音楽部

(バンド名: サワークリームオニオンズ、NATTS)

山朔田んぼ (高校生ソロ弾き語り)

※変更になる場合があります。

入場料
無料!!

問合せ: 渋川市中心市街地まちづくり市民サポーター事務局
(渋川市産業政策課) TEL 0279 - 22 - 2596



渋川市20周年記念事業 「しぶかわパンケーキ甲子園」が開催されます

地域のにぎわい創出と交流人口の拡大を目的として、渋川市内の高校生を主体とする「しぶかわパンケーキ甲子園」が、12月6日(土)に渋川市役所本庁舎駐車場で開催されます。

1 概 要

渋川市内の高校生を主体として、参加チームが既製のパンケーキ生地を使ってオリジナルのパンケーキを創作し、チーム毎の出店ブースで販売します。購入者は、どのパンケーキが美味しかったか投票し、参加チームの順位を競い合います。

今年度からは、渋川市内の高校だけでなく、市外の高校に通う生徒も参加対象とし、イベント全体をさらに盛り上げるとともに、パンケーキには地元企業が提供する米粉100%の生地を使用しています。

また、市内企業による飲食物の販売を行っている「しぶかわバザール」と学生を主体としたステージイベントも同時開催され、会場を盛り上げます。

2 日 時 令和7年12月6日(土) 午前11時～午後3時 ※荒天の場合は中止

3 場 所 渋川市役所本庁舎 駐車場(渋川市石原80番地)

4 内 容

(1) しぶかわパンケーキ甲子園

渋川市内の高校生がオリジナルパンケーキを創作し、競い合うイベント。

参加者は、購入した商品に対して各チームごとの色別の投票用紙が1枚渡され、普通・良い・大変良いの3段階で評価します。最終的に投票数と評価の合計が一番高かったチームが優勝となり、上位のチームには賞金が渡されます。

(2) しぶかわバザール

地元の飲食店が集結し、寒い季節にぴったりの飲食物の販売を行います。

(3) ステージイベント(渋FES「HEART OF JAPAN SHIBUKAWA」)

学生が主体となりバンド演奏、ダンス発表といった“魂”のステージライブを行います。

5 パンケーキ甲子園チケット 1枚200円(税込)
※チケットの購入は1人2枚まで
※販売枚数に限りがあります

6 参加団体

(1) しぶかわパンケーキ甲子園

- ①ユースセンターよはく
- ②渋川高校(CBC部2年生チーム)
- ③渋川高校(CBC部1年生チーム)
- ④渋川青翠高校(食物部)
- ⑤渋川工業高校(弓道部)
- ⑥明和県央高校
- ⑦市立前橋高校

(2) しぶかわバザール

- ①(株)ぐんたね(焼き芋)
- ②(株)ライフデザイン(こんにゃくドリンクぷるりん)
- ③L e i (ホットサンド)
- ④Cafe&DiningBar Vingtie (ポップコーン・ドリンク)
- ⑤季の旬菜 松むら(未定)

(3) ステージライブ

- ①坂下町お囃子係(お囃子)
- ②渋川女子高校バトン部(ダンス)
- ③チアダンスクラブSunnys(ダンス)
- ④渋川高校In the sea(カラオケ)

7 主 催 渋川商工会議所青年部実行委員会

8 後 援 渋川市、渋川商工会議所

参考

過年度の実施状況

年度	開催日	イベント名	来場者数
令和4年度	令和4年12月11日	クレープ甲子園	約2,000人
令和5年度	令和5年11月3日	パンケーキ甲子園	約1,500人
令和6年度	令和6年12月8日	パンケーキ甲子園	約2,000人

■問い合わせ先

産業観光部 部長 柴田 宏(内線4899)

担当:産業政策課(電話0279-22-2596)

課長 山田 量俊(内線4890)

商工・産業振興係長 保科 陽介(内線4895)

パンケーキ大集合!

SHIBUKAWA PAN-CAKE KOSHIEIN

高校生たちの考えた



2025

渋川パンケーキ甲子園

米粉100%生地

2025 12/6 SAT.
@渋川市役所

11:00~15:00 (表彰式 15:30~) 会場/渋川市役所本庁舎駐車場



FES

同日開催

HEART OF JAPAN SHIBUKAWA

高校生が奏でる「魂のステージライブ」



All Genre OK!



Shibukawa
Dazar

同日開催

しぶかわバザール

渋川の元気な企業が集結! 魅力的な商品とサービスをご覧ください。

パンケーキチケット
販売

お1人様2枚400円



混雑が予想されます。
お車でお越しの場合は
乗合せにご協力下さい。

MAP



ホームページ



Instagram



facebook

PANCAKE KOSHIEIN

主催 / 渋川商工会議所青年部実行委員会
後援 / 渋川市・渋川商工会議所

協賛 / 群馬製粉株式会社
Gunma Flour Milling Co., Ltd.
お問合せ: 070-6521-4335 (実行委員長: 浦野)

渋川市人権教育講演会「発達障害について～特性理解と支援のポイント～」を開催します

渋川市は、12月10日(水)に人権教育講演会を開催します。「発達障害について～特性理解と支援のポイント～」を演題として、講師から発達障害の特性を理解し、周りの人にできることや支援方法等、実践的なお話をさせていただきます。

1 概 要

国内では、毎年12月4日から12月10日までの1週間を「人権週間」として、全国的な人権啓発活動が行われます。渋川市は、市民の人権意識の高揚と、人権教育に携わる教職員・職員等の資質向上を図るため、人権週間に合わせて、12月10日(水)に人権教育講演会を開催します。

今回は、障害のある人と人権をテーマとし、発達障害の特性理解と支援方法について実践的なお話をさせていただきます。

2 日 時 令和7年12月10日(水) 午後2時～3時30分
(受付：午後1時30分～)

3 会 場 金島ふれあいセンター(金島公民館)ホール
(住所：渋川市金井1999番地、電話：0279-22-0241)

4 講 演

- ・テーマ：障害のある人と人権
- ・演 題：「発達障害について～特性理解と支援のポイント～」
- ・講 師：群馬県発達障害者支援センター 井上 聡 氏

5 参 加 料 無料

6 参加方法 当日直接会場へ

7 主 催 渋川市教育委員会、渋川市人権教育推進協議会

8 そ の 他

本講演会は毎年開催しており、市民とともに、人権関係団体や市職員・市内小中学校等教職員なども参加する研修機会としています。

講演会のテーマは、渋川市人権教育推進協議会が「第2次人権教育・啓発の推進に関する群馬県基本計画」の示す重要課題を参考として、様々な人権問題の中から選定しています。

参考

1 渋川市人権教育推進協議会

様々な人権問題の解決に向けた教育及び啓発の積極的な推進を図るため、調査・研究、協議及び学習機会の提供などの活動を行っています。現在の委員数は21人で、人権関係団体や学校教育関係者、行政関係者から組織されています。

2 「第2次人権教育・啓発の推進に関する群馬県基本計画」の示す個別重要人権課題

- ①「女性」に関する問題
- ②「子どもたち」に関する問題
- ③「高齢者」に関する問題
- ④「障害のある人たち」に関する問題
- ⑤「同和」に関する問題
- ⑥「外国籍の人たち」に関する問題
- ⑦「H I V感染者等」に関する問題
- ⑧「ハンセン病元患者」に関する問題
- ⑨「犯罪被害者等」に関する問題
- ⑩「インターネット」に関する問題
- ⑪「性的少数者」に関する問題
- ⑫「刑を終えて出所した人たち」に関する問題
- ⑬「北朝鮮による拉致」に関する問題
- ⑭その他の人権問題

3 過年度の開催状況

(1) 令和4年度

日 時：令和4年10月12日 午後2時～3時30分
会 場：金島ふれあいセンター ホール
テーマ：インターネットやSNSと人権
演 題：インターネットの問題から人権を考えよう
講 師：県生活こども部生活こども課人権啓発専門員 久保 敏 氏
参加者：70人

(2) 令和5年度

日 時：令和5年10月19日 午後2時～3時40分
会 場：金島ふれあいセンター ホール
テーマ：子どもの人権
演 題：子どもの権利について
講 師：新島学園短期大学 コミュニティ子ども学科 准教授 草間 吉夫 氏
参加者：96人

(3) 令和6年度

日 時：令和6年12月6日 午後2時～午後3時30分
会 場：金島ふれあいセンター ホール
テーマ：インターネットによる人権侵害について
演 題：「加害者にも被害者にもならないためのネット利用」
講 師：群馬県警察サイバーセンター 飯塚 澄子 氏
参加者：109人

■問い合わせ先

教育部 部長 西脇 正悟（内線4930）
担当：生涯学習課（電話0279-22-2500）
課長 照井 智子（内線4950）
生涯学習係長 村尾 洋明（内線4954）

令和7年度渋川市「家族の日」大会を開催します

渋川市女性団体連絡協議会は、家族の絆の大切さに気づきを与えるとともに、家族や地域の大切さについて再認識をしてもらうことを目的に、毎年度、市内小中学生を対象に家族をテーマにした作文を募集しています。今年度は392点の応募があり、審査により入賞者を決定しました。

11月29日(土)に開催される、渋川市「家族の日」大会において、入賞者表彰式と最優秀賞受賞者による作文の朗読を行います。

1 概 要

渋川市女性団体連絡協議会は、家族の絆の大切さに気づきを与えるとともに、家族や地域の大切さについて再認識をしてもらうことを目的として、毎年、市内の小中学校に在学している児童・生徒を対象に、家族をテーマにした作文の募集を行っています。昨年度までは、小学1年生から中学3年生までの全学年を対象にしていたが、今年度から小学3年生、小学6年生及び中学2年生の3学年を募集対象としました。

今年度は、小学生242点、中学生150点、合計392点（令和6年度は、小学生797点、中学生347点、合計1,144点）の応募があり、審査の結果、最優秀賞3点、優秀賞33点の入賞者を決定しました。

令和7年11月29日(土)に開催される渋川市「家族の日」大会において、入賞者表彰式と最優秀賞受賞者による作文の朗読を行います。

2 日 時 令和7年11月29日(土) 午後1時30分

3 場 所 渋川市北橘ふれあいセンター（渋川市北橘町真壁2354）

4 内 容 表彰式及び最優秀賞受賞作品朗読

5 入 賞 者

・最優秀賞 3点（小学生2点、中学生1点）

氏名（ふりがな）	学校・学年	題 名
今井 陽一（いまい よういち）	橘小3年	ある日の今井家
松村 真緒（まつむら まお）	橘小6年	私の大好きな家族
飯島 紗雪（いいじま さゆき）	古巻中2年	家族のおかげで

・優 秀 賞 33点（小学生25点、中学生8点）

※入賞作品を掲載した『渋川市「家族の日」大会入選作文集』を作成し、入賞者に配布します

6 主 催 渋川市女性団体連絡協議会

7 共 催 渋川市教育委員会

参考

1 渋川市「家族の日」大会作文応募状況

- ・令和6年度＝1,144点
- ・令和5年度＝1,143点
- ・令和4年度＝1,098点
- ・令和3年度＝1,150点
- ・令和2年度＝ 890点
- ・令和元年度＝1,146点

2 渋川市女性団体連絡協議会とは

女性の社会参画意識の向上と、地域の発展に寄与することを目的とした団体で、市内で活躍する8つの女性団体及び個人会員で組織されています。

渋川市「家族の日」大会作文の審査は、各小中学校及び女性団体連絡協議会の会員が行っています。

【構成団体】

- ・渋川連合女性会
- ・渋川市渋川赤十字奉仕団
- ・渋川市女性防火クラブ
- ・渋川市伊香保赤十字奉仕団
- ・更生保護女性会伊香保支部
- ・渋川市伊香保婦人会
- ・おのがみレディースクラブ
- ・更生保護女性会小野上支部

■問い合わせ先

教育部 部長 西脇 正悟（内線4930）

担当：生涯学習課（電話0279-22-2500）

課長 照井 智子（内線4950）

生涯学習係長 村尾 洋明（内線4954）

令和7年度明るい選挙啓発ポスターコンクール表彰式を開催します

明るい選挙推進のため、選挙啓発事業の一環として市内の小中学生から募集したポスターコンクールの表彰式を開催します。

入賞作品20点は、令和7年12月5日(金)から15日(月)まで、浜川市役所第二庁舎で展示します。

1 概要

明るい選挙推進のため、選挙啓発事業の一環として、浜川市内の小中学生から「明るい選挙啓発ポスター」を募集したところ、小学生38点、中学生181点、合計219点の応募がありました。

審査の結果、20点の入賞作品が決まりましたので、受賞者の表彰式を開催します。

2 日 時 令和7年12月12日(金) 午後4時30分

3 会 場 浜川市役所第二庁舎 201会議室

4 内 容 賞状及び記念品の授与

5 入賞者

・委員長賞(敬称略)

学 校 名	学 年	氏 名
子持中学校	1	猪股 あかり (いのまた あかり)



◀委員長賞受賞作品

・優秀賞（順不同、敬称略）

学 校 名	学年	氏 名
渋川南小学校	6	千木良 蒼介（ちぎら そうすけ）
古巻小学校	4	山田 観多郎（やまだ かんたろう）
古巻小学校	4	藤本 旭（ふじもと あさひ）
長尾小学校	4	須田 琉生（すだ るい）
長尾小学校	5	草間 千颯（くさま ちはや）
渋川中学校	1	奥泉 音羽（おくいずみ とわ）
渋川中学校	2	荒木 愛里（あらき あいり）
渋川中学校	2	森下 蓮斗（もりした れんと）
渋川中学校	2	水江 智哉（みずえ ともや）
渋川中学校	2	藤田 あおい（ふじた あおい）
渋川北中学校	1	手計 孝康（てばかり たかやす）
古巻中学校	3	小林 莉緒（こばやし りお）
古巻中学校	3	吉川 和弥（よしかわ かずや）
子持中学校	1	石坂 理子（いしざか りこ）
子持中学校	1	後藤 絢菜（ごとう あやな）
子持中学校	3	後藤 実莉（ごとう みり）
子持中学校	3	生巢 綾乃（なます あやの）
子持中学校	3	宮崎 琉生（みやざき るい）
北橘中学校	2	狩野 莉（かのう まり）

6 入賞作品 渋川市ホームページで公表しています

7 入賞作品展示会の開催

- (1) 日 時：令和7年12月5日(金)～15日(月) 午前8時30分～午後5時15分
※閉庁日を除く
- (2) 場 所：渋川市役所第二庁舎2階 あじさいサロン
- (3) 内 容：コンクールの入賞作品20点の展示

8 主 催 渋川市選挙管理委員会

9 そ の 他

渋川市のコンクールでの入賞作品を県のコンクールに出品したところ、次のとおり受賞しました（敬称略）。

- (1) 入賞（佳作）：子持中学校1年 石坂理子
- (2) 入賞（佳作）：子持中学校1年 猪股あかり
- (3) 入賞（佳作）：子持中学校3年 生巢綾乃
- (4) 入選：古巻小学校4年：山田観多郎
- (5) 優秀団体（入賞作品が最も多く選出された団体）：子持中学校

■問い合わせ先

総務部 部長 星野 幸也（内線2100）
担当：総務課（電話0279-22-2112）
課長 藤井 成行（内線2110）
総務係長 樋口 孝行（内線2118）